

ものづくりの現場を運搬の面で支える専門企業 長年培った技術力を生かして国内外で積極展開

機械類の運搬・設置・据付・組立・解体・工場間の移転・搬出、
レッカー揚重作業など、重量物の運搬を専門に展開している株式会社藤原重機。
ものづくりの現場を支える
同社の事業について、代表取締役社長 藤原 宏行氏にうかがった

大型重量物の運搬を ワンストップで提供

工場の内部に据え付けられた大型の機械類などは、一般的にもともと工場とともに作られたのではなく、外部から持ち込まれ、据え付けられたものだ。こうした大型の製作機械など、輸送に専門性が求められる大型の重量物に特化して事業を展開しているのが株式会社藤原重機だ。

「新設の工場はもちろん、移転や統合などに伴う機械の解体・搬出・移動・据付なども当社の事業です。重量物運搬、機械設置・組立・解体といった関連業務をワンストップサービスで提供しています。当社の自社製品ではありませんから、『お客様の大事な財産を運ばせていただく』という心構えを常に持っています。長年の事業展開で培った専門性の高い技術を生かした『職人の技』が求められる仕事です」
(藤原氏)

一般的運送事業の場合は景況の変

化による影響を受けやすい傾向にあるが、同社は事業内容に専門性を持たせ、これに特化することで景気変動のリスクを抑え、むしろ強固な基盤を築き上げることに成功し、業績を堅調に推移させてきた。

「リーマンショック後も、工場の統廃合などが活発化したため、当社の事業への大きな影響は抑えることができました」
(藤原氏)

海外にもいち早く進出 タイ洪水の復興にも貢献

製造業を中心にもものづくりの現場が海外にシフトしていく現状をとらえ、いち早く海外進出も図った。2003年には日本の機械専門商社や中国の通関会社と合弁会社を設立。国内で多数ある実績をノウハウとして生かすことで受け入れられ、同社の業績に大きく貢献している。

「海外でも日本の運搬技術を知る日系企業からは、やはり『日本クオリティ』の対応が求められます。このご要望に対応できるのは、高度な技術力と繊細な心づかいができる、当社のような日系の専門企業です。日本と同じレベルの作業を提供することで、中国でも高い信頼を得ることができました」(藤原氏)

「被害に遭われた現地の企業やタイの方々が、一日も早く事業を再開し、これまでに以上に大きく発展していくために、当社の力がお役に立てればと思います。復興活動を通じて社会にも貢献していきます」(藤原氏)

ものづくりの基盤を運送事業面から支える同社には、今後も国内外から大きな期待が寄せられる。



株式会社藤原重機

代表取締役社長 藤原 宏行(ふじわら・ひろゆき)氏

[本社]〒577-0063 大阪府東大阪市川俣1丁目19-13
[電話]06-6787-4877

<http://www.fujiwara-juki.co.jp>

●設立:1973年 ●従業員数:76名 ●代表者:代表取締役 藤原 宏行 ●事業内容:一般区域貨物自動車運送事業、機械器具設置業、産業廃棄物収集運搬業、クレーン作業全般、貨物集積倉庫業、各種機械運搬解体据付組立、各種プラント解体組立、各種機械基礎など。



全ての選択には、
フィクションに勝るドラマがある。
<http://kenja.jp/>

全国放送



毎週日曜 / 朝10:00~10:55



毎週日曜 / 昼12:00~12:55

兵庫・大阪



毎週月曜 / 夜10:00~10:55